第 198 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）

１．日時　　2010 年 9 月 22 日(水)　13:30～17:00

２．開催場所　　自動車会館(市ヶ谷)　2 階小会議室(東京都千代田区九段南 4-8-13)

３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

１号委員

長尾委員長(豊橋技科大)	○	岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×
小林委員(日立製作所)	○	清水委員(東芝)	×	高橋委員(ビスキャス)	○
中坊委員(日新電機)	×	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	○	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×
穂積委員(愛知工大)	×	本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×
渡辺委員(日立電線)	×	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

２号委員

岩本委員(東工大)	×	江原委員(東京都市大)	×	加藤委員(新潟大)	○
池田委員(JX-E)	○	本間委員(電中研)	○		

４．提出資料

番号なし	第 197 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-198-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-198-2	第 85 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 代理出席報告
DEI-198-3	第 13 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録
DEI-198-4	屋外ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 第 1 回 議事録
DEI-198-5	調査専門委員会フォローシート (2010 年度計画)
DEI-198-6	平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定 (2 次案)
DEI-198-7	2010 年度 家田賞・矢作賞投票結果
DEI-198-8	第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案書(第 3 次案)
DEI-198-9	第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムにおける SS セッション申し込みリスト
DEI-198-10	第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 発表スケジュール
DEI-198-11	2011 International Symposium on Electrical Insulating Materials 開催提案書(案)
DEI-198-12	First Call for Papers (2010 ISEIM)

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 197 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、下記項目を修正の上、承認された。

2 頁 5-2　誤)渡辺委員，JX 日鉱日石株式会社
　　正)池田渡辺委員，JX 日鉱日石エネルギー株式会社

3 頁 5-3　誤)優秀論文 2 件を表彰している
　　正)優秀論文 3 件を表彰している
　　当技術委員会で選考している優秀論文発表賞の次点論文を、DEIS の優秀論文表彰の対象として推薦する。

5 頁 5-10　Honorary chair は、奈良高専 木村先生ではなく、早稲田大 大木先生に依頼し、承諾済み

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-198-1 に基づき、委員の所属等についての確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

5-3. 第 85 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会（今井幹事補佐）

資料 DEI-198-2 に基づき、代理出席した今井幹事補佐から、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- A部門役員会関係（平成 22 年 3 月 5 日開催）
  平成 23 年全国大会におけるシンポジウム申し込み締め切りが、9 月 24 日であることから、その場で東京都市大 江原先生に連絡を取り、シンポジウムの開催を依頼し、ご承諾頂いた。23 日午前までに、シンポジウムの申し込み書を、電気学会事務局に送付頂く。
- 研究会・技術委員会活動の予定と実績
  平成 22 年度研究会開催計画，調査専門委員会の事務手続き状況について、確認が行われた。
- 部門活性化資金予算(残額)について
  部門活性化資金予算の残額 90 万円を年度内に執行する必要がある。使途案についての意見があればメールで連絡をお願いしたい。
- 調査専門委員会の設置申請ついて
  当技術委員会から申請した「東アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する調査専門委員会の設置は、設置趣意書を修正後、次回 A 部門運営委員会で再審議となった。

- 基礎･材料･共通部門 活動資金 申請について

  当技術委員会から申請した第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムの活動資金(99,000 円)は、審議により承認された。
- 会合等における飲食費支出のガイドラインについて

  全国大会や部門大会などの学会(会議)の後の懇親会は(会議に付随する正式な懇親会)、従来通りの扱いで問題なし。技術委員会，調査専門委員会の後の慰労的な懇親会については、電気学会への活動資金申請は認められない。
- 次回の基礎･材料･共通部門 研究調査運営委員会

  10 月 27 日(水) 13：30～　@電気学会

5-4. 第 13 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会議事録の報告（加藤委員）

資料 DEI-198-3 に基づき、第 13 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録が報告された。第 14 回委員会は 7 月に開催済み、第 15 回委員会(最終回)は、10 月に開催予定との報告があった。

5-5. 第 1 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 議事録の報告（本間 調査専門委員会 委員長）

資料 DEI-197-4 に基づき、第 1 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 議事録が報告された。前調査専門委員会での技術報告原稿は、95%が完成しており、近いうちに、電気学会事務局へ原稿を提出したいとの報告があった。

5-6. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-198-5 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術

  第 1 回委員会を 6 月 18 日に開催済み。第 2 回委員会は 10 月 1 日に開催予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術

  第 1 回委員会を 6 月 1 日に、第 2 回委員会を 9 月 21 日に開催済み。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発

  7 月 7 日，9 月 6 日に委員会を開催済み。12 月 16 日に研究会を実施予定。
- 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント

  7 月 30 日に幹事会を、9 月 22 日に委員会を開催済み。
- 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用

  7 月 29 日に、第 14 回委員会と研究会を開催済み。
- 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術

  技術報告の作成状況を、田中幹事から江原先生に確認する。

- 繰り返しインパルスにおける部分放電計測

  放電技術委員会と当技術委員会で、所管技術委員会を交互に担当している。継続委員会の設置時期等について、長尾委員長から匹田委員長へ問い合わせをする。

5-7. 平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)の確認（田中幹事）

資料 DEI-197-6 に基づき、平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)の確認を行った。

- 有機薄膜・複合膜とデバイス応用，一般(電子情報通信学会連催)

  発表件数は 8 件。但し、著作権が電気学会に帰属する発表は 5 件となる。
- 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム

  開催地：秋田(秋田大学) → 秋田(秋田アルベ)に修正する。

  シンポジム期間中に当技術委員会は開催しない。

  担当委員：穂積，高橋 → 長尾，高橋に修正する。
- 空間電荷(IEEE DEIS Japan Chapter 協賛)

  12 月 16 日に東京(自動車会館)で、研究会を開催する。
- 電線・ケーブル絶縁材料の劣化現象，先進診断技術，次世代材料

  12 月の研究会開催はなしとする。
- 屋外用ポリマー，ナノコン

  今年の開催は難しい。当技術委員会としては、来年は開催してほしい。
- 有機エレクトロニクス研究会

  開催地：東海地区とする。

  電子情報通信学会主催，誘電絶縁材料技術委員会連催とする。
- 国際会議報告，学際分野，絶縁一般

  国際会議報告について、以下のように発表者を割り振った。

CMD	高橋(電中研)	CEIDP	田中研(東京都市大)の学生
ICSD	栗原(電中研)	IEC	清水(名城大)
CIGRE	長尾(豊橋技科大)	ISEI	今井(東芝)
ACED	田中(東京都市大)		

5-8. 2010 年度家田賞・矢作賞投票結果（芦辺幹事）

資料 DEI-198-7 に基づき、家田賞は吉村先生(秋田大学)，矢作賞は後藤様(元 東芝)に決定したことが報告された。受賞講演については、吉村先生，後藤様も承諾済みであるため、至急、予稿の作成依頼を行う。

5-9. 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-198-8 に基づき、下記のように開催までのスケジュールを変更することが報告された。

講演申し込み締め切り	2010 年 6 月 30 日	→	7 月 15 日
論文採択決定と原稿依頼	2010 年 7 月中旬	→	8 月中旬
論文原稿締め切り	2010 年 9 月 16 日	→	9 月 30 日
第 41 回シンポジウム	2010 年 11 月 15～17 日(変更無し)		

5-10. 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムにおける SS セッションついて（今井幹事補佐）

資料 DEI-198-9 に基づき、シンポジムでの SS セッションの発表件数が 10 件となったことが報告された。

5-11. 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム 発表スケジュールについて（田中幹事）

資料 DEI-198-10 に基づき、シンポジムでの発表スケジュールについて検討を行い、下記事項を取り決めた。

- 特別セッション 2 として、当委員会委員による材料紹介セッションを設置する。
  エポキシ関係は菱川委員，ポリエチレン関係は池田委員が担当する。
  予稿は 4 頁以内とし、10 月中旬の提出とする。
- ポスターの発表件数は 23 件。6 件／1 チームで 4 チームの編成として、相互の発表を見学する。
- 座長には、各セッションのコメント及び優秀発表の選定(A 部門誌特集号での候補論文)をお願いする。
- 菱川委員より、材料関係，機器絶縁関係のセッションの座長に変更してほしいとの要望があった。

5-12. 2011 International Symposium on Electrical Insulating Materials 開催提案について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-198-11 に基づき、2011 ISEIM の開催に向けて検討を行い、下記事項を取り決めた。

- 一般募集テーマの見直しを行ったことが報告され、確認を行った。
- テキストベースの Abstract を投稿して頂き、この後、Full paper と Full paper の内容を A4(1 枚)に纏めた Extended abstract を投稿して頂くこととする。シンポジウム当日は、Extended abstract をまとめた冊子と Full paper をまとめた CD-ROM を配布することとする。

- 招待講演の講師を早急に決めて、講演依頼を打診する。
- Call for papers は、CIGRE，CMD では配布済み。10 月の CEIDP でも配布する。
- International advisory committee は、従来通りで、資料に記載のメンバーとする。委員長名で、座長，シンポジウムへの申し込み促進などを依頼する。
- Local arrangement committee の Chair は、同志社大学加藤先生とする。
- CIGRE コロキアムと日程が一部重なるため、シンポジムの日程を 9 月 6 日～10 日に変更し、6 日に Registration と Welcome party を行う。日程変更に伴い、会場確保の点で問題がないか、同志社大加藤先生に確認をする。
- シンポジウム最終日の午後に、Technical tour や Excursion などを企画したい。

６．その他

- 第 199 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、12 月 16 日 10:00～12:00、東京で開催する。
- 第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、3 月 3 日，4 日を候補日とし、箱根での開催を検討する。企業の保養所を利用できないか検討する。

備考：当委員会終了後の幹事会で、第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムにおける発表スケジュールを再検討し、下記のように変更することとした。

	15 日	16 日	17 日
午前		9:00～10:00 機能性材料　3 件 10:00～10：10 休憩 10:10～11:50 特別セッション 1 (25 分×4 件)	9:00～ ﾅﾉｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ　4 件 部分放電　4 件
午後	13:25～ 劣化診断　4 件 機器絶縁　4 件 新素材・改質　4 件	12:50～15:50 MPV&SS ｾｯｼｮﾝ 12:50～16:10 休憩 16:10～16:50 特別セッション 2 (20 分×2 件) 16:50～18:20 招待講演 (45 分×2 件)	

以上